

# Fedora Core 6 のインストール

## インストールメモ

- ・ HP Proliant ML110 G3

## DVD からインストール

グラフィカルモードでインストールしようとする、画面が乱れてしまうので、テキストモードでインストールを行う。

テキストモードだと、全部英語。

## 起動メニュー

boot: linux text

とタイプ。

## Language Selection

Japanese を選択

ja\_JP.UTF-8 はテキストモードでは使えないので、インストールは英語ですよと注意される。

OK

## Keyboard Selection

jp106

## Warning

パーティションを初期化してよいですか？データ全部消えますよと注意される。  
新品の PC なので、

Yes

## Partitioning Type

[\*] sda

このマシンは、Serial ATA なので、hda 等ではない。Linux では、SCSI と認識されるよう。

OK

Warning

/dev/sda

の Linux パーティションをすべて削除することを選択しましたが、よいですか？ときかれるので、

Yes

Review Partition Layout

パーティションのレイアウトを確認できるようなので、Yes とする。  
パーティションの細かな設定ができる。

Device	Size	Type	Mount Point
VG VolGroup00	76160M	VolGroup	
LV LogVol00	16000M	ext3	/
LV LogVol01	2048M	swap	
LV LogVol00	34976M	ext3	/xen/u1
LV LogVol00	23136M	ext3	/xen/u2
/dev/sda			
sda1	101M	ext3	/boot
sda2	76214M	physical v	

<http://pantora.net/pages/linux/lvm/1/>

Xen 用に論理ボリュームを追加。

実際に Xen をインストールするときには、umount する必要がある。

Boot Loader Configuration

デフォルトで続行

Use GRUB Boot Loader

以降の Boot Loader の設定もデフォルトで行う。

Network Configuration for eth0

- ・DHCP をはずす
- ・IPv6 サポートをはずす

Address 192.168.0.4 / 255.255.255.0

Hostname Configuration

ホスト名を適当に設定

linga.typea.dip.jp

Time Zone Selection

Asia/Tokyo

Root password

root のパスワードの設定

Package selection

Xen のベースとして、利用したいので、極力不要なものは入れたくないため、デフォルトの以下のチェックをはずす。

・ Office and Productivity

[\*] Customize software selection

を選択して OK

[ ] Virtualization

にチェックすると、Xen 用のカーネルしかインストールされないようなので、あとでインストールを行う。

Dependency Check

依存性のチェックが実行される。

Installation to begin

OK で、インストールが始まる。

Choose a Tool

インストールが終了し再起動後、作業が継続するが、文字化けで何が書かれているかまったくわからない。

# LANG=C

として、かろうじて読めるように。

## 最新状態に更新

yum を使って、パッケージを最新に

```
yum -y update
```

## 文字化け対応

EUC-JP が必要な場合

文字コードを EUC JP に

GUI 環境が文字化け

ディスプレイの表示がみだれ、グラフィックインストールできなかったため、テキストインストールを行ったが、漢字が表示されない症状は

```
yum install fonts-japanese
```

にて、解決したが、日本語入力等はインストールされなかったため、

```
yum groupinstall "Japanese Support"
```

とした。

ディスプレイの乱れ自体は、インストール後、手探りでなんとか設定できた。

---